

平成30年度 災害給付状況報告

給付件数及び給付金額の状況（前年比）

	平成30年度						平成29年度		比較増減	
	給付事業		共済事業		合計		件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額				
(1) 傷病見舞金	7	44,030	805	16,887,125	812	16,931,155	867	19,146,271	△ 55	△ 2,215,116
(2) 障害見舞金	0	0	4	5,544,000	4	5,544,000	5	10,644,000	△ 1	△ 5,100,000
(3) 香料	0	0	15	1,500,000	15	1,500,000	13	1,300,000	2	200,000
(4) 歯科補綴特別見舞金	0	0	10	520,000	10	520,000	11	600,000	△ 1	△ 80,000
(5) 死亡見舞金	0	0	1	16,800,000	1	16,800,000	0	0	1	16,800,000
(6) 特別給付金	0	0	1	1,000,000	1	1,000,000	0	0	1	1,000,000
合計	7	44,030	836	42,251,125	843	42,295,155	896	31,690,271	△ 53	10,604,884

給付状況について

平成30年度の給付件数843件は、昨年度比6%減であり若干減少したが、高水準を維持している。

(1) 傷病見舞金

29年度と比較して、給付件数で55件の減、給付額で約221万円の減となっている。

1件当たりの平均給付額は、29年度22,000円に対して30年度は20,850円で、若干減少している。

また、新たな請求件数（安全振興会傷病見舞金給付の対象となる災害発生件数）は、30年度は410件で、29年度の457件と比較し、10%の減となっている。

平成28年度の年間給付件数が902件が過去最高で、平成29年度が867件、平成30年度が812件と減少に転じている。

(2) 障害見舞金

平成29年度より給付件数は1件の減、給付額は510万円の減である。これは平成29年度に、平成19年テニスの部活動中に倒れ除細動器埋め込み手術を受けた、7級（7,140,000円）の比較的大きな障害見舞金を支出したためである。今後は件数、見舞金とも減少していくことが予想される。

(3) 死亡見舞金

平成29年度の部活動中における熱中症による死亡事故に係る死亡見舞金である。

(4) 特別給付金

上記死亡見舞金に係る特別給付金の支給である。

(5) 各年度平均的に給付のある傷病見舞金、香料、歯科補綴特別見舞金の前年度との比較は、次のとおりである。

給付件数は54件の減、給付金額は209万円の減となっている。このことにより、1件当たりの給付金額は29年度23,600円に対して30年度は22,640円で4.1%の減となっている。

	件数	金 額
平成30年度	837	18,951,155
平成29年度	891	21,046,271
比較増減	△ 54	△ 2,095,116